

# 第90回関西学生陸上競技対校選手権大会

開催日:平成25年5月9日(木)~12日(日)

場所:長居陸上競技場

種目		名前	学年	記録	着順・順位	備考
800m	予選	山田 郁香	1年	2分28秒30	2組7着 予選落ち	自己記録 2分19秒17
1500m	予選	港 菜月	1年	4分45秒72	2組7着 予選落ち	自己記録 4分36秒01
5000m	決勝	床呂 沙紀	1年	18分08秒78	28位	自己記録 17分55秒68
3000m障害	決勝	港 菜月	1年	11分24秒76	10位	香川県記録更新 初レース4 日本学生対校、日本学生個人選手権の標準記録を突破
		尾崎 可南子	1年	12分47秒23	21位	初レース

## 【山本コメント】

初日は、港の1500m。自己記録を出せば予選通過できるかというところだったが、まだそこまでの準備はできていない。前半のペースが今の港にとってはやや速すぎ、800m以降は先頭集団から離れ、大きくペースダウンした。しかし、遅れながらも何とかまとめ、2週間前の記録会とほぼ同タイムでのゴールとなった。

2日目は、港と尾崎の3000m障害。二人とも初レース、2組のうちの遅い方の組でレースに臨んだ。港は、前半から積極的に走り、中盤以降は2位をキープし、そのままゴール。後半やや疲れたが、障害の跳び方には良いセンスを感じた。記録としては、香川県記録(12分01秒89)を大きく更新。日本インカレのB標準記録も突破した。尾崎は、前半からスピードに乗れないままゴール。練習不足を露呈した。今後の奮起を期待したい。

3日目は、山田の800m。1周目は集団について走れたが、後半は大きくペースダウン。練習不足を露呈した。今後の奮起を期待したい。

4日目は、床呂の5000m。出場者リスト内では持ちタイムが一番低く、苦戦が予想された。結果、前半最後尾につけるもややオーバーペースとなり、後半は大きくペースダウン、うまく力を発揮できないレースとなった。地力をつけていくことと、5000mでの力の出し方を身につけていくことが今後の課題である。

全体として、力不足を改めて実感した形だが、これをスタートとして、近い将来他校の選手と肩を並べて走れるよう、力をつけていきたい。